

雑がみの例

- お菓子などの紙箱（金や銀の光沢のある文字などの装飾があるものは×）
- トイレットペーパーの芯（香りが強いものは×）
- ティッシュの箱（取出し口のビニール部分は取り外してください）
- ハガキ、封筒（切手部分、封筒のセロファン部分は取り除いてください）
- チラシ、パンフレット、カレンダー、ポスター、ノート（ホッチキスなどの金具やプラスチック部分は取り除いてください）

雑がみには入れないで！

- 食品などで汚れた紙…ピザ、油、クレヨン、墨など
- カーボン紙…宅配便伝票など
- 感熱紙…レシートなど
- 粘着性がある紙…シール（台紙含む）、圧着ハガキなど
- 臭いのついた紙・芳香紙…石けん、化粧品、線香など
- 写真用紙
- 防水加工された紙
- 不織布（マスクなど）
- 昇華転写紙…靴やカバンの緩衝材に使用
- 感熱性発泡紙（立体コピー紙）…点字など、紙に凹凸があるもの
- ロウ引き段ボール…輸入青果物や輸入海産物に使用
- パルプモールド…たまごの紙製容器、紙製緩衝材
- ティッシュペーパー、キッチンペーパー



判断に迷うものは町ホームページを参考にしてください。雑がみの例や、雑がみ辞典をご覧ください。



雑がみの分別を紙リサイクルにおいては「新聞・雑誌・段ボール」以外に「雑がみ」の回収が大きなポイントとなります。お菓子の紙箱やティッシュの箱などの雑がみは、ご家庭でもえるごみとして捨てられてしまいがちですが、分別し資源として排出することでごみを減らし、資源として循環させることができます。

雑がみの分別を

紙リサイクルにおいては「新聞・雑誌・段ボール」以外に「雑がみ」

の回収が大きなポイントとなります。

お菓子の紙箱やティッシュの箱な

どの雑がみは、ご家庭でもえるごみ

として捨てられてしまいがちですが、

分別し資源として排出することでご

みを減らし、資源として循環させる

ことができます。

禁忌品（雑がみの中でもリサイクルできないもの）に注意

禁忌品や紙以外のものが混入すると再資源化の工程で品質異常が発生し、100以上が製品として使えなくなります。雑がみの再資源化推進のために正しい分別をお願いします。

紙リサイクルのため、適切な分別にご協力ください

雑がみの出し方

次のいずれかの方法でまとめ、月1回の資源ごみ（ミックスペーパー）の収集日か、地域の資源回収で排出してください。

●細かいものは雑誌のページの間に挟んで、雑誌と一緒に排出。

●雑がみだけをばらけないように紙ひもで縛る。

●紙袋や封筒に入れ、ばらけないように紙ひもで縛る。



雑がみ保管袋を配布しています

環境未来推進課では「雑がみ保管袋」を配布しています。まだ受け取ったことのないご家庭は、役場2階環境未来推進課の窓口か次の場所でも申し出てください。

- 青垣生涯学習センター
 - 保健センター
 - ふれあいセンター
- ※雑がみ保管袋が古くなったり、お持ちでないご家庭は買物などでもらった紙袋で代用できます。

ふんわりアクセルでGO

発進時のアクセルはゆっくりと
年間 10,030 円 194kg-CO₂
歩いて行こう！自転車で行こう！
年間 4,320 円 80kg-CO₂



お風呂時間にもできる

流しっぱなしのシャワーを1分間止める
年間 3,300 円 29kg-CO₂
節水シャワーヘッドに交換
年間 7,000 円 74kg-CO₂
追いきせずつけて入る
年間 6,880 円 87kg-CO₂



照明にも休息を

1日1時間 OFF にする
年間 530 円 12kg-CO₂
LED電球に取り替えよう
年間 2,280 円 53kg-CO₂



冷やしすぎず暖めすぎず

夏は1℃上げ、冬は1℃下げる
年間 1,860 円 46kg-CO₂
服で調節、時間を減らそう
年間 1,625 円 44kg-CO₂



役場での省エネ取り組み

▶ウォームビズ、クールビズ
暖房時の室温を20℃-1℃、冷房時28℃に弱め、服装を工夫することで対応しています。

▶ペーパーレス
庁内回覧や会議などでの紙の使用は最小限にしています。

ムリせずできる省エネから
取り組みませんか

ゆるエコ

環境未来推進課 ☎ 33-1660

ムリせず始められる
小さな取り組み
ゆるECOライフ



節約・CO₂削減のめやす

それ、本当に見たい番組？

1日1時間 OFF にする
年間 450 円 10kg-CO₂
画面の明るさを最大→中にする
年間 730 円 16kg-CO₂



[中] ぐらいがちょうどいい

冷蔵庫の中は隙間をあけて
年間 1,180 円 26kg-CO₂
夏以外は設定温度を[中]に
年間 1,670 円 36kg-CO₂



カーボンニュートラル達成のため

近年、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加により地球温暖化が進行し、大型台風や豪雨など自然災害が激甚化しています。環境に対する社会の意識や関心が高まるなかで、田原本町は令和3年7月28日に「田原本町ゼロカーボンシティ宣言」において、2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量を実質ゼロにすることを宣言しました。カーボンニュートラルの達成のためには、一人ひとりが省エネに取り組む必要があります。
ムリせず始められる小さな取り組み
家庭で始められる取り組みとして、NPO法人奈良ストップ温暖化の会（NASO）が公開している「ゆるECOライフ」の一部を紹介します。省エネに取り組み、温室効果ガスの削減と、光熱水費の節約につなげましょう。



田原本町
ゼロカーボン
シティ宣言

カーボンニュートラル…二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。